

県高P連広報

ご挨拶



新潟県高等学校PTA連合会 会長
一般社団法人 新潟県高等学校
PTA安全互助会 理事長 古川 憲
(新潟中央高等学校PTA会長)

秋風が心地よく感じられる季節となりました。昨年度に引き続き、令和七年度新潟県高等学校PTA連合会会長を務めさせていただくことになりました古川憲と申します。どうぞよろしくお願いいたします。会員の皆さまにおかれましては、日頃より各単位PTA活動に対するご理解とご協力を賜り、心から敬意と感謝を申し上げます。

現在、大阪・関西万博が開催され、未来の社会や技術、そして人のつながりが世界中から注目されています。こうした時代の大きな流れの中で、子どもたちが確かな価値観と判断力を持って歩んでいくために、家庭・学校・地域が連携して支える意義は一層高まっています。

さて、七月には福井県で開催された北信越地区高等学校PTA連合会研究大会に参加いたしました。歓迎アトラクションでは福井県立武生商工高等学校吹奏楽部によるエネルギーパフォーマンズでお出迎えをいただき、心震える感動を感じることができました。各地区から

発行所
新潟県高等学校
PTA連合会
新潟市中央区新光町10-3
技術士センタービルII-701
TEL (025) 384-8244
FAX (025) 384-8288
印刷所
株式会社小林印刷所

の代表高校PTAによる活動発表では多岐にわたる活動が報告され参加者に多くの学びと気づきを得る機会となりました。記念講演には、日本男子バレーボール界の名将・中垣内祐一氏をお迎えし、「選手強化の最前線」男子バレーのケース」と題してご講演をいただきました。

ご講演の中ではただやみくもに押し付け、根性論という時代から「目的を明確にすること」「最優先事項を見極める力」「課題を抽出し、解決する力」、そして「自分を律する力」の重要性について、スポーツの現場での経験に基づいた熱いメッセージをいただきました。

私たち保護者にとっても、大切なことは何か、何を優先すべきかを見失わず、常に学びを重ねていく姿勢が求められているのだと実感いたしました。

結びに、本広報紙が、皆さまの活動の一助となり、子どもたちの未来を共に考えるきっかけとなれば幸いです。今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

高め合える仲間とともに

三条高校競技かるた部
保護者 小川 優子

競技かるたは、読手が読み上げた上の句に対応する下の句の札を取り合う競技です。娘は小学校三年生の時に授業で百人一首に触れ、競技かるたを始めました。

高校進学の際は競技かるた部がある三条高校への進学を希望し、素敵な同級生や後輩に出会いました。仲間同士で切磋琢磨し、「競技かるたの甲子園」とも呼ばれる全国高等学校選手権大会に三条高校として初出場を果たしました。これとともに困難を乗り越え、お互いに高め合える仲間がいたからこそだと思います。七月下旬に行われた高校生活の集大成となる「かがわ総文祭」では、新潟県代表の一人として出場しました。総文祭ま

経験を糧に、未来へ

新潟江南高校ハンドボール部
保護者 牧岡 龍一

去る六月一日、新潟明訓高校を決勝戦で破り、悲願のインターハイ出場を掴み取ることができました。タイムアップの瞬間、江南サイドの観客スタンドでは、一二年生部員、女子部員、そして保護者、関係者がみな喜びを爆発させました。

総勢四十一名で活動してきた男子ハンドボール部は、学年の壁がなく仲の良さが最大の武器であるとキャプテンを務めた息子は言い、それが今年の大きな勝因だと言います。アットホームで、団結力の高いチームにご指導いただいた監督・顧問の先生方にまずは感謝申し上げます。十八年振り九回目の出場となった岡山



でに合同練習を何度も行い、団体戦に向けて力を高めてきました。試合中には新潟県代表の仲間同士で励まし合い、最後の一枚まで懸命に取り合う姿が見られ、成長を感じました。

三条高校をはじめ県内の競技かるた部の皆さん、関わってくださった先生方や指導者の皆様、今まで本当にありがとうございました。これからも最後の一枚まで諦めない三条高校のかるたを繋いでほしいと願っています。



インターハイの初戦は、八月三日倉敷体育館にて大阪代表の強豪、桃山学院高等学校との対戦でした。経験や実力に差があり、圧倒された試合となりました。試合となりましたが、選手にとつてあの舞台に立つたことが貴重な経験となったはず。その大きな経験という岡山土産を次年度の新潟県内連覇、そしてインターハイでの勝利に繋げてくれることを期待しています。今までご支援いただいたOBの皆様、関係の皆様に改めて感謝申し上げます。

新潟県高等学校PTA連合会 総会報告

新潟南高等学校PTA会長 馬場 匠



去る六月六日、ホテルイタリヤ軒を会場に、今年度の県高P連総会・研究協議会及び（一社）新潟県高等学校PTA安全互助会社員総会が開催されました。高P連総会は永井智則副会長の開式の言葉に続き国歌を斉唱後、古川憲会長の挨拶と、来賓の新潟県教育委員会教育次長の鶴巻勝様より祝辞を賜りました。その後、前年度の会務並びに決算報告・会計監査報告、及び役員改選について承認がなされました。再任の古川憲新会長の挨拶と功労者への感謝状贈呈の後、遠藤和人新副会長を議長に、今年度の活動方針・事業計画及び収支予算案について承認がなされました。

安全互助会社員総会は井上沙織副理事長の開式の言葉に続き、古川理事長の挨拶後に、前年度の事業報告・会計決算、役員選出、本年度の事業計画・収支予算について承認がなされました。



11月1日は「新潟県教育の日」



四校のPTAより提案発表が行われました。第一発表は柏崎常盤高等学校の「新潟県立柏崎常盤高等学校PTA活動」、第二発表は新潟工業高等学校PTA活動の取組み、第三発表は「恵温」の心を育む「新潟江南高等学校PTA活動報告」、「第四発表は長岡大手高校の「済美」の精神を涵養するPTA活動」の順にそれぞれ特色のある取組が紹介され、大変参考になりました。

最後に新潟食料農業大学教授の比良松道一様より「人の絆と農を支える自炊力」だから「自炊」なんだ」と題してご講演いただきました。朝食が洋菓子という学生が、自炊塾によって崩壊しかけていた食文化を取り戻していくお話など、時代背景と重なる興味深い講演会となりました。

県高P連総会 提案発表

第一発表

新潟県立柏崎常盤高等学校 PTA活動

柏崎常盤高等学校

PTA会長 遠山みちる

本校は創立122年を迎える伝統校です。現在は、男女共学、普通科計七クラスの小規模校ではありますが、大学・専門学校進学・就職と多様な進路に合わせた教育活動は充実しています。

PTAは、三役を含む常任理事を中心にクラス理事（会報・巡視・会計監査）で構成されています。

「ビーチクリーン活動」は生徒・保護者・職員（令和七年度は同窓会会員も参加）協働で柏崎中央海岸の清掃を行う一大イベントとなっており、令和五年度から開始し、今年で三年目となりました。この活動を通じて生徒の皆さんが地域に愛着を持ち、環境問題や社会貢献に関心を寄せてくれることを期待し、今後も継続をしていきたいと思っています。

他にも、常盤祭（文化祭）への協力、登校時の立哨指導、人権講演会の開催などを通じて、学びの場の提供や、私達が直接生徒の皆さんとコミュニケーションを取る機会を設けています。

これからも、生徒の皆さん一人一人が安心して自身の成長のために学習や部活動、校外活動に夢中になって取り組める環境を作るべく、学校と協力しながら支援を続けていきたいと思っています。

第二発表

新潟工業高等学校 PTA活動の取組み

新潟工業高等学校

PTA会長 田中 恵美

新潟工業高校は、高度なもののづくり、実践的な技能・技術の習得を目指す特色ある工業高校で、四学科が設置された学校です。生徒は、高度熟練技能士等である特別非常勤講師や外部講師の先生方による直接技術指導や校外での実習を通じて、技術の習得に取り組んでいます。

本校のPTA組織は、三つの小委員会で構成され運営しています。飛翔祭（文化祭）では、委員会に関係なく全員が協力して積極的に参加します。

昨年度から始めた六月の体育祭での熱中症対策に向けた取り組みを今年度も行いました。グラウンドでテントを出して給水所を設けるとPTAの負担が大きくなることもあり、休憩時間に体を冷やすための冷凍パウチと塩タブレットをPTA役員が生徒に直接配布しました。

十月に行われる飛翔祭では、大勢のPTAが協力して、飛翔鍋（大きな寸胴で作る豚汁）の調理とおにぎりの仕入れ販売を行います。おにぎりも以前は調理していましたが、感染症予防と負担軽減のため数年前から仕入れ販売としました。調理室では食品を提供する三年生のクラスと一緒にするため、自然と生徒との会話も増えます。事前の買い出しや当日の朝早くからの調理等大変さもありますが、皆様から好評で、完了した時の達成感と充実感を共有できることはPTA活動ならではの楽しみです。

主役の子ども達を下支えして様々な活動を充実させることはもちろん、楽しく協力できることで明るく積極的な活動できると思っています。これからも過負担にならず継続できるPTA活動で学校と一緒に盛り上げていきたいと考えています。

北信越PTA連合会研究大会 福井大会報告

新潟工業高等学校PTA会長 中村 未知



去る七月十一日・十二日、福井市のフェニックス・プラザを会場に北信越地区高P連大会福井大会が開催されました。歓迎アトラクションでは「日本一ファンキーな吹奏楽部」として知られる武生商工高等学校吹奏楽部による演奏が披露され、観客も含め皆で音楽を作り上げる一体感とエネルギーがあふれるオーブニングとなりました。

実践発表では、研究主題「輝きある未来への継承」共に生き、共に育つ」のもと各県代表の個性豊かな発表をいただきました。中でも石川県立羽咋高等学校の取り組みが特に印象に残りました。石川県能登半島の入り口に位置する羽咋高等学校は能登半島地震で大きな被害を受け、生徒や教職員の多くが被災する中で、生徒会の発案により「絆」という一文を中心、復興の願いが込められた応援看板を作成し正門前に掲げたそうです。復興



は決して容易な道ではありませんが、前を向く姿や人と人とのつながりの大切さ、温かさを再認識する発表となりました。夜は和やかな雰囲気の中で、地元福井の素晴らしい料理を味わいながら、普段お話しできない方々とも交流を深めました。続く二日目は、元男子日本代表バレーボールチーム監督・現福井工業大学教授である中垣内祐一様より、「選手強化の最前線」男子バレーのケース」を演題に御講演いただきました。周囲との関わり方についてはPTA活動のみならず、私たちの日常や将来にも通じる内容で深く心に残りました。今回の研修旅行では新たな学びを得ることができ、また多くの学校関係者の方々と親睦を深めることができました。この経験を活かし、より良い教育環境づくりに繋げていきたいと考えております。最後になりますが、企画・運営に御尽力くださった皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

第三発表

「恵温」の心を育む

新潟江南高等学校 PTA活動

新潟江南高等学校 PTA会長 齋藤 愛

新潟江南高校は昭和三十八年に県立新潟女子高等学校として開校、同四十九年に現在の校名となり、今年創立六十二年を迎えた全日制普通科の高等学校です。校訓に「恵温」（おだやかにしてかつすなおに）を掲げ、三年間を通して、生徒が確かな学力と豊かな人間性を身につけ、一人一人が希望する進路を実現できるよう、教育活動が行われています。PTA活動も学校の教育活動に歩調を合わせ、生徒の進路実現に向けて、進路講演会講師への謝礼補助や進学資料の整備補助の支援など、また、青葉祭（体育祭）や恵温祭（文化祭）など学校行事への参加や部活動への支援を主な活動としてこれまで行ってきました。生徒の成長を実感しながら、私たちも成長できるよう、保護者対象の講演会を開催したり、学校で開催される人権教育、同和教育に関する学びの機会を保護者にも呼びかけたりしています。

新潟江南高校に通う生徒がより充実した経験を積み成長できるように、そして新潟江南高校が地域の学校としてより魅力のある学校として注目されるように、PTA活動も少しずつ活動範囲を広げていきたいと考えております。今後ともよろしく願っています。

第四発表

「済美」の精神を涵養する

PTA活動

長岡大手高等学校 PTA会長 杉本 良輔

1903年創立の新潟県立長岡大手高等学校は、123年の歴史を持つ伝統校です。校訓「済美」のもと、これまで3万9千人以上の卒業生を社会に送り出してきました。多様な学びと未来志向の教育

普通科と家政科を設置し、多様な進路に対応しています。二年生からの文理選択や三年生の選択科目により、生徒一人ひとりの興味関心に合わせた専門性の高い学びを提供しています。一コマ55分授業で、基礎から応用まで体系的に学習できます。

近年は、長岡技術科学大学との連携によるデータサイエンスリテラシー教育やAI活用授業を通して、探究的な学びを推進。令和六年度からは「DXハイスクール事業」の指定を受け、デジタル社会に対応した教育を強化しています。

充実した学校生活とPTAの貢献 運動系・文化系合わせて二十八の部活動が盛んで、多くの生徒が人間的な成長を遂げています。体育祭や済美祭（文化祭）、修学旅行など年間行事も充実しており、生徒の思い出を彩ります。

PTAは学校運営に深く関わり、ICT環境整備への協力や進路支援など、生徒の学びを多角的にサポート。2021年には文部科学大臣より「優良PTA」として表彰されました。地域との連携も密に、生徒が安心して学べる環境づくりに貢献しています。

長岡大手高等学校は、伝統を大切にしつつ、常に新しい教育に挑戦し、生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出すこと目指しています。

全国高等学校PTA連合会大会 三重大会報告

新潟北高等学校PTA会長 伊藤和成

去る八月二十一日から二十二日の二日間、三重県の津市産業・スポーツセンターを会場とし、第七十四回全国高等学校PTA連合会三重大会が「出会いはいま常若のくに」「集い、想い、継ぐ」三つの重なる明日への力」をテーマに開催されました。

初日の表彰式では、本県からは優良PTA文部科学大臣表彰として三条東高等学校PTAが、全国高等学校PTA連合会会長表彰個人の部において長岡高等学校今井進太郎様と新潟工業高等学校井上沙織様が、そして団体の部においては三条商業高等学校PTA及び直江津中等教育学校PTA、役員等の部で前事務局長の岩田宏樹様が表彰されました。誠にありがとうございました。

その後四つの会場に別れて分科会が行



われ、二日目は井村屋株式会社代表取締役会長CEO中島伸子様による「『尊厳は明日の力』」壁を開ける手の中の鍵」と題された記念講演が行われまし

た。

今次会において、私が強く感銘を受けたものは大会テーマにもある『常若（とこわか）』の思想でした。



開式挨拶においても語られた通り、三重県の伊勢神宮は二十一年に一度内宮を始め十四宮を隣地にそのままでの姿で建て替え、ご神体を遷す『式年遷宮』を行います。

この二十一年に一度というのは「一世代につき一度」という意味があると聞きました。つまり式年遷宮の真の目的とは、世代毎に確実に固有の「記憶」「技術」を伝承させる事にあるのです。そして確実に伝承され続ける「記憶」「技術」は千年超の時を経てみても瑞々しく現代にその姿を残すことが出来るのです。

これこそまさに「教育」の真髄です。「教育」とは個人の成長もさることながら、コミュニティや文化が永続していく為に必要なものであり、それを支える存在としてPTAがあると考えれば、今PTA全国大会が、『常若のくに』において開催されたことには非常に大きな意義があったと感じています。

新潟県高等学校PTA連合会 役員及び職員

会長 古川 憲 (新潟中央)

副会長 永井 智則 (高田商業)

理事 遠藤 和人 (新発田)

理事 田中 謙一 (新潟中央)

理事 井手 規秀 (柏崎)

理事 福田 頼母 (糸魚川)

理事 杉本 正行 (長岡大手)

理事 宮内 正行 (小千谷)

理事 菅原加奈子 (巻総合)

理事 堀川 俊行 (新潟)

理事 三岡 幸子 (新潟西)

理事 後藤 信哉 (新井)

理事 村山 竜平 (新発田商業)

理事 夏見 康彦 (柏崎)

理事 木村 和史 (高田商業)

理事 小堀 皇司 (長岡商業)

理事 小堀 皇司 (三条東)

理事 菅森 茂樹 (村上)

理事 星 達哉 (新潟北)

理事 丸山 綾子 (新潟向陽)

理事 関矢 和彦 (事務局)

理事 渡辺 典子 (高田南校)

理事 小森 速人 (長岡英智)

理事 間藤 秀一 (新発田)

理事 小竹 聖一 (新潟中央)

新潟県高等学校PTA連合会 感謝状贈呈者

中川 健寿 (佐渡川分校)
今井進太郎 (長岡)
井上 沙織 (新潟工業)
雲川 孝志 (柏崎)
安田 貴志 (糸魚川)
皆川 能治 (三条東)
長谷川 雅一 (長岡)
伊東 崇 (村上)
神田 健史 (新潟)
小玉 美加 (新潟西)
太田 史記 (十日町)
白根 淳子 (新潟江)
保坂 正紀 (新発田商業)
桃井 薫 (新井)
保坂 哲 (高田北城)

令和7年度 地区PTA研修会の開催予定

	地区名	地区PTA幹事校	開催期日(曜日)	開催時刻	会場	当番校
1	新 潟	新潟工業	11月19日(水)	14:30	新潟東映ホテル	新 潟 江 南
2	巻	巻 総 合	11月21日(金)	14:00	巻ふれあい福祉センター	分 水
3	新発田・村上	新 発 田	11月17日(月)	13:30	胎内市産業文化会館	阿 賀 野
4	新 津	新 津	11月7日(金)	14:00	新津地域交流センター	新 津 南
5	長 岡	長 岡	11月21日(金)	14:30	アトリウム長岡	長 岡 工 業
6	三 条	三 条 東	11月21日(金)	14:00	燕三条ワシントンホテル	燕 中 等
7	魚 沼	小 千 谷	11月7日(金)	13:00	魚沼市ボランティアセンター	小 出
8	柏 崎	柏 崎	11月13日(木)	14:30	ソフィアセンター(柏崎市立図書館)	柏 崎 工 業
9	高田・直江津	直江津中等	11月21日(金)	14:30	ホテルハイマート(直江津駅前)	上 越
10	佐 渡	佐 渡	10月30日(木)	14:00	国際佐渡観光ホテル 八幡館	佐 渡

編集後記

新潟には枝豆などとても美味しい逸品が多くあります。しかし全国的な知名度となると他県産の方が同じ商材でも有名であることが多いです。全国的なブランドとなることにより、生産者の手取りの増加や加工品・観光など周辺産業も発展します。就業者の増加も期待できます。地元でも県外でもアピールしていきたいですね。

(調査広報委員新潟P会長 堀川)